

10月25日発売!

【角川「俳句」11月号(10/25発売)に広告掲載】

待望の  
書籍化!

# 語り継ぐ いのちの俳句

3・11以後のまなざし

高野ムツオ著

## 震災を詠み続けた俳人が語る 3・11の記録、言葉の力

地震、津波、台風、洪水、豪雪、噴火——古来日本は幾度となく自然災害に見舞われ、そこから多くのことを学び、教訓としてきた。東日本大震災後、第一線で活躍する俳人の高野ムツオが7年にわたって書き、語り続けてきた貴重な言葉の数々を収録。自然とは何か、生きるとは何なのか——深い思索から「言葉の力」が立ち上がってくる。

◎書き下ろし「震災詠100句 自句自解」を初掲載

◎主義主張を超え、年代を超えて詠まれたさまざまな俳人の「いのちの俳句」を未来へ贈る

◆主な内容◆

はじめに——被災地の今

第一章 震災1000日の足跡

芽吹く蘆に祖霊を見る／瞬間を切り取る詩、俳句  
無名の力／俳句のこれから

第二章 1000日以後

「自然」と「人間」はどう詠われてきたか／言葉の力のありか  
みちのくの虫たちと俳句／津波に消えた句会／福島にて ほか

第三章 震災詠100句 自句自解

◆著者プロフィール◆ 高野ムツオ (たかの むつお)

日本を代表する俳人で、今年から蛇笏賞の選考委員に就任。昭和22年生まれ。金子兜太、佐藤鬼房に師事。震災詠を含む句集『萬の翅』(2013年)により、読売文学賞・蛇笏賞・小野市詩歌文学賞をトリプル受賞し、大きな話題を呼んだ。「小熊座」主宰、現代俳句協会副会長、「河北俳壇」選者。宮城県多賀城市在住。



天災が続く今、  
必読の書!

書影はイメージです  
定価 本体一八〇〇円＋税  
四六判 並製本二〇八頁

ご注文はJRCへ FAX: 03-3294-2177

●JRCより全ての取次への出荷が可能です。●返品は長期にお受けします。(了解者JRC後藤)

ご注文 申込書	貴店名・帳合	注文数  冊	発行 朔出版 電話・FAX 03-5926-4386
			語り継ぐいのちの俳句 3・11以後のまなざし 高野ムツオ著 四六判/並製/208頁/定価: 本体1800円+税
			ISBN978-4-908978-17-3 C0095